

- 日本風景街道は、道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした美しい国土景観の形成を図り、観光の振興や地域の活性化に寄与する取り組みです。
- 「風景街道のさらなる発展、情報交換や人的交流」を目的として、北陸風景街道交流会議を毎年開催しています。
- 次回は、日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」活動エリアでもある「新潟県上越市・糸魚川市」で開催予定です。

開催概要

- ・開催日時：令和4年10月29日(土) 13:30~15:30
- ・開催場所：富山県魚津市（ありそドーム）
- ・主催：北陸風景街道協議会 事務局（北陸地方整備局 道路部 地域道路課）
- ・参加：約45名（北陸管内14ルートの内10ルート参加：日本海パークライン、北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート、金沢城下野町・弥生誘い街道、奥能登絶景海道、日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」、飛越交流ぶり・ノーベル出世街道、より道街「中越」、越後妻有里山回廊、佐渡國しま海道、蟹気楼ロード 他）

プログラム

1. 開会

- 主催者挨拶 道路部長 武藤 聡
- 開催地挨拶 魚津市産業建設部長 宮野 司憲
- アドバイザー挨拶 NPO法人日本風景街道
コミュニティ 理事 臼井 純子



武藤 道路部長



宮野 魚津市産業建設部長



臼井 純子 氏



石田 東生 氏

2. 意見交換・事務局からの報告

- ・各ルートの活動状況、少子高齢化における今後の活動、他分野との相互連携の可能性について意見交換
- ・表彰制度、Instagramの周知



各ルートとの意見交換

3. 閉会

- 閉会挨拶 NPO法人日本風景街道
コミュニティ 代表理事 石田 東生

4. 次回開催地紹介

日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」

【主な意見】

- 少子高齢化、人材不足、資金不足、風景街道の認知度が低いことが課題。
- Instagramにおいて、関連アカウントを相互フォローをすることで、認知度向上につながる。
- 各団体で、それぞれのルートの魅力を見つけて守っていくことが大切。
- 情報共有を継続し、手を組みながら、積み重ねていくことが重要。
- 各ルートが集まり意見交換・情報共有する場は貴重であるため、北陸地方整備局として今後も継続し、尽力してほしい。